

サステナブル通信

No.26 2025年11月26日



作成：サステナブル推進委員会

1. SBTi(Science Based Targets initiative)について

【SBTiとは？】

パリ協定が求める基準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標に会社が沿っているか国際機関が認定する仕組みです。Science Based Targets initiativeは「科学的根拠に基づく目標設定」と訳されます。

中小企業向けには自社のCO₂排出量計算（Scope1：燃料の燃焼等で自ら直接排出したCO₂、Scope2：他社から供給された電気ガスの使用で間接的に排出したCO₂）だけで申請可能な「簡易版SBTi」があります。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

【なぜSBTiに取り組むのか？】

当社でもSBTiに取り組むことを以下の理由から検討しています。

- ◎気候変動への対応は大企業だけではなく取引先を含めたサプライチェーン全体の課題になっています。漠然と削減目標を設定するのではなく、国際認定の基準に則り、削減設定することでより信頼できる目標となります。
- ◎日本の参加企業は現段階で2,000社を超え水処理、食品、電機、自動車等で採用しており、私達の関与企業も含まれます。
- ◎Eco Vadis等、当社が取り組んでいるサステナブル評価への加点対象となります。

【当社のメリット】

- ◎取引先から選ばれやすくなる。
CO₂排出データや削減目標の提出を求める企業が増えてきており、脱炭素の対応力があるとして信頼される。
- ◎電気代・燃料代が下がり利益改善につながる
省エネ設備更新、デマンド管理、ムリムダ削減はCO₂削減=コスト削減に直結
- ◎人材採用にも効果
若い人ほど「環境に取り組んでいる会社」を重要視、ブランド力になる。

【取り組みのイメージ】

会社の取り組み	個人の取り組み
エネルギー使用量の見える化	電気の「つけっぱなし・使いっぱなし」をなくす
不要稼働・空調温度の適正管理	工場設備のアイドリングを減らす
老朽設備の優先更新（削減効果の大きい設備から）	改善のアイデアを気軽に共有
物流の効率化（積載率UP・導線改善）	
廃棄物の再資源化や歩留まり改善	

【SBTi認定までの流れ】

↓この提出でECOVADIS等では評価対象です。

- ①当社のCO₂排出量を算定
- ②削減目標をSBTiに提出
- ③約1～2ヶ月で認定
- ④毎年の進捗を報告